

農林水産省が15日発表した野菜の食品価格動向調査によると、6～8日の全国平均小売価格はキャベツが1kg当たり534円で、平年比約3.3倍となった。産地が昨夏の猛暑や昨秋の天候不順に見舞われ、生育の遅れや品質不良による出荷量の減少が原因。鍋向けの需要が高いハクサイやダイコンなど調査対象の8品目全てが値上がりした。長引けば家計への負担も懸念される。

キャベツの価格は昨年1月に1kg160円前後で推移していたが、昨年11月から今年1月にかけては75%増の283円。いず

で 野菜高騰

農水省調査

キャベツ価格3.3倍、家計直撃

主な野菜価格の動向(6～8日)	価格(円)	平年比
キャベツ	534	約3.3倍
ハクサイ	314	約2.2倍
レタス	1051	86%↑
ダイコン	283	75%↑
トマト	1088	52%↑
ネギ	1134	46%↑
ニンジン	503	40%↑
タマネギ	363	16%↑

※農林水産省まとめ。価格は1kg当たり

農水省によると、1kg当たりの品目別の価格はハクサイが約2.2倍の314円、キャベツの高騰により、消費者からの需要が高まったという。レタスが86%増の1051円で、ダイコンは75%増の283円。いず

一方、生産者側のコストも上昇している。昨年11月時点の農業生産資材価格指数は、2020年平均に比べ肥料は約4割、燃料代は約3割高くなった。

農水省は野菜を扱う量販店など470店の価格動向を調べた。平年比は直近5年分の1月平均と比べたもの。

2025年1月16日付6面

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

猛暑(もう・しょ) 見舞(み・ま)われ=(天災や攻撃などに)襲われること 遅(おく)れ 鍋(なべ) 需要(じゅ・よう)=商品が必要だと思って求めること 懸念(け・ねん)=気にかかって不安に思うこと。心配。気がかり 超(ちょう) 影響(えい・きょう) 戻(もど)る 高騰(こう・とう)=物価などが高くなること 響(ひび)いた 上昇(じょう・しょう) 扱(あつか)う 量販(りょう・はん)=ある種類の商品を大量に販売すること

【問1】 見出しの空欄に当てはまる語句を漢字4字で答えましょう。
()

【問2】 次のうち、キャベツの高値が続く原因として記事中の説明と異なるものを一つ選びましょう。
猛暑 低温 降雨量の減少 長雨 ()

【問3】 次のア～ウのうち、需要または供給の語句を誤って使用している説明文を一つ選びましょう。

ア 生育の遅れや品質不良により野菜の出荷量が減少し、野菜の供給量が低下したために価格が上がった。

イ 冬になり鍋向けの需要が高まったため、ハクサイやダイコンなどの価格が上がった。

ウ 高騰するキャベツの代わりにハクサイを買う消費者が増えてハクサイの供給が高まり、ハクサイの価格が上がった。

【問4】 野菜を生産する農家のコストも上昇しています。具体的にどのような経費が上昇していますか。二つ答えましょう。
() ()

【調べてみよう】 物価上昇に関する新聞記事を集め、品目や原因、今後の動向について調べてみよう。

